

「学生による授業評価」のまとめ2020年度 第3・第4クォーター刊行にあたって

2021年6月

南山大学ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会
委員長 三浦英俊

南山大学では、1997年度から全学で「学生による授業評価」を実施してきた。この授業評価の目的は、各教員が授業方法の改善点を見出し、大学全体の教育の質を向上させることにある。2017年度よりクォーター制が導入され、同時に「学生による授業評価」はウェブ入力方式へ変更するとともに設問項目の整理を行った。

2020年初めより始まった世界的な新型コロナ流行のため、大学は入構禁止となり、2020年度第1クォーターの授業は、予定より遅れて4月下旬からすべてウェブクラスとズームを用いたオンライン授業により開始された。授業体制を整えることに注力するため、学生による授業評価は中止した。第3・第4クォーターは、第2クォーターのオンライン授業に加えて、通常の対面授業、対面とオンラインを併用するハイブリッド授業も行うこととなり、これらの授業形態に対応できるよう設問内容を変更して学生による授業評価を行った。

2020年度より授業評価を行う対象科目数を見直して、専任教員・非常勤教員にかかわらず各クォーター1教員1科目であったのを、各学期(2つのクォーター)1教員1科目に削減した。

評価対象科目の選出ルール等の詳細についてはウェブページ(南山大学ホーム>日本語トップ>在学生の皆様>授業改善への取組(「学生による授業評価」))に掲載されているのでご覧いただきたい。また、授業評価結果の概要についても同じウェブページで開示されている。

1 授業評価の実施方法

① 対象科目

各学期について1教員につき1科目が選択され第3・第4クォーター合わせて合計459科目が授業評価の対象となった。

② 質問項目

質問項目は以下のとおりである。設問1と2は、学生の授業参加を問う項目、設問3から14は教員の授業運営や授業全体に関して問う項目となっている。このほかに、3つの自由記述の質問項目を設けており、理工学部の授業については4つの追加設問項目がある。2020年度第3・第4クォーターの設問は、設問3、8、9、10をオンライン授業、対面授業併用に項目内容を変更した。

〈「学生による授業評価」質問項目〉

設問1：この授業を履修する前、あなたは授業の内容について興味を持っていましたか。

設問2：受講に際して、予習や復習を含め、主体的に授業に参加し、内容を理解しようとする努力をしましたか。

設問3：オンラインで受講した場合、事前に予告された開始時間は守られていましたか。対面で受講した場合、授業の開始と終了の時間は守られていましたか。

設問4：毎回の授業の構成や進行速度は適切なものでしたか。

設問5：この授業の到達目標を理解することができましたか。

設問6：あなたはこの授業の到達目標に向けて力がついてきていると思いますか。

設問7：担当教員の授業に取り組む姿勢に誠実さ、真剣さを感じることができましたか。

設問8：授業中に、教員の声や音声機器の音はよく聞き取れましたか。オンラインで受講した場合でネットワーク環境が不安定だった場合は【3 どちらとも言えない】を選択してください。

設問9：教員は学生の理解度に配慮し、また、教科書、配布資料、視聴覚教材、課題、実技などを効果的に使って適切に授業を進めましたか。

設問10：授業の妨げになる行為に対して、適切な対処がされてきましたか。

設問11：学生の学習意欲を引き出し、積極的な授業参加や自主的な学習を促すための、適切な指導や情報提供はありましたか。

設問12：質問や相談の機会が、十分に設けられていましたか、あるいは、課題、実習等に対する事前・事後指導は十分でしたか。

設問13：この授業を通して、新しい知識(あるいは、技術や能力)を得たり、理解が深まったと感じますか。

設問14：全体として、あなたはこの授業に満足しましたか。

③ 実施手順

授業評価の実施はウェブ入力によって行われる。学生は、教員の指示により授業時間内に各自のスマートフォン等を使ってPORTAにログインして回答する。回答は匿名化して処理される。授業時間にスマートフォン等を携帯していない等、回答ができない学生は、授業終了後に学内または自宅PC等を利用して回答することが可能である。

④ 実施・集計日程

以下の日程で実施集計を行った。別途、FD委員会による自由記述の閲覧および結果の分析・検討を行っている。

	第3クォーター	第4クォーター
授業評価の実施	2020年10月19日～ 2020年11月10日	2020年12月22日～ 2021年1月26日
集計作業	2020年11月11日～ 2020年11月13日	2021年1月27日～ 2021年1月29日
教員への集計結果の通知	2020年11月16日	2021年2月1日
教員からの自己点検・評価報告書提出	2020年11月16日～ 2021年2月16日	2021年2月1日～ 2021年2月16日
『学生による授業評価』のまとめの発行	2021年6月	2021年6月

2 集計結果の概要

① 回答率について

回答率は、登録人数のうち、実際の回答者数の割合である(表1)。第3クォーターは42.25%、第4クォーターは41.51%である。オンライン授業時の第2クォーターに比べて10%も回答率が低下した。第3・第4クォーターの回答率に関する特徴として、30名以下の少人数クラスの回答率が以前と比較して低くなっていることがある。2018年以降の経年変化を見ると、241名以上のクラスは回答率が上昇したが、それ以外の人数区分については低下傾向にある。

表1 回答率(2018年度第3クォーター～2020年度第4クォーター)

	2018Q3	2018Q4	2019Q1	2019Q2	2019Q3	2019Q4	2020Q2	2020Q3	2020Q4
全体	44.33%	42.15%	50.89%	46.13%	42.16%	46.23%	52.42%	42.25%	41.51%
30名以下	63.89%	62.28%	70.28%	67.51%	62.32%	65.42%	68.86%	48.77%	50.22%
31～60名	51.75%	50.21%	52.15%	50.88%	46.19%	51.36%	54.99%	39.65%	42.54%
61～120名	40.79%	40.57%	52.75%	44.27%	39.45%	45.43%	52.44%	40.29%	38.40%
121～240名	42.36%	41.20%	50.23%	46.69%	38.65%	41.80%	49.70%	41.43%	37.00%
241名以上	34.84%	30.61%	42.75%	36.17%	35.58%	34.67%	48.20%	46.64%	43.32%

② 報告書提出について

授業評価を行ったあとに教員より自己点検・評価報告書を提出していただいている。2020年度第3クォーターは1科目(全体の0.56%)、第4クォーターは2科目(全体の0.67%)が報告書非提出であった。

③ 評定平均値について

表2を見ると、多くの授業がオンライン授業であったにもかかわらず、「項目3から14

の評定平均値」について第3、第4クォーターともに4.4程度となっており、第2クォーターからほとんど変化していない。2018年度や2019年度よりも高い数値となっている。表3は各設問項目の数値の推移を示す。オンライン授業または対面授業による授業が行われた中で設問9の数値はコロナ前と比較してあまり変化していない。

表2 項目3から14の評定平均値(2018年度第3クォーター～2020年度第4クォーター)

年度・学期	2018Q3	2018Q4	2019Q1	2019Q2	2019Q3	2019Q4	2020Q2	2020Q3	2020Q4
全体	4.31	4.37	4.36	4.37	4.37	4.43	4.43	4.44	4.43

表3 項目ごとの評定平均値(2018年度第3クォーター～2020年度第4クォーター)

	設問項目	2018	2018	2019	2019	2019	2019	2020	2020	2020
		Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q2	Q3	Q4
1	授業への興味	3.99	4.11	4.06	4.09	4.10	4.18	4.16	4.12	4.20
2	授業への取り組み・自主的な学習の実行	4.01	4.07	4.06	4.05	4.08	4.13	4.22	4.18	4.22
3	授業時間の厳守	4.61	4.61	4.65	4.65	4.64	4.63	4.73	4.72	4.67
4	構成や速度が適切	4.36	4.42	4.43	4.43	4.42	4.49	4.48	4.49	4.47
5	到達目標の理解	4.07	4.16	4.13	4.15	4.15	4.24	4.19	4.17	4.21
6	到達目標の達成	4.01	4.07	4.04	4.07	4.09	4.16	4.10	4.11	4.14
7	教員の姿勢	4.48	4.51	4.52	4.53	4.52	4.54	4.60	4.60	4.57
8	教員の声	4.54	4.59	4.58	4.56	4.57	4.58	4.48	4.56	4.53
9	理解度への配慮・板書、配付資料	4.34	4.42	4.41	4.41	4.42	4.48	4.44	4.47	4.45
10	妨げ行為への対処	4.36	4.42	4.41	4.41	4.44	4.50	4.64	4.67	4.71
11	意欲を引き出す工夫・自主的な学習の指導	4.18	4.26	4.22	4.24	4.25	4.33	4.28	4.32	4.30
12	質問や相談の機会	4.28	4.36	4.33	4.33	4.37	4.42	4.45	4.49	4.44
13	知識・理解の深まり	4.28	4.34	4.34	4.35	4.34	4.40	4.39	4.39	4.37
14	全体としての満足度	4.22	4.29	4.27	4.28	4.28	4.36	4.33	4.34	4.33

3 教員ごとの結果の見方

括弧のついていない頁番号のところが、教員ごとの結果である。本報告書では、原則として1ページに2件分の結果をまとめて表示する。

それぞれ、次の内容となっている。

- ① 科目名、教員名、回答率、休講・補講回数など
- ② 2種類のレーダーチャート 右下の図は回答者全員の集計結果であり、左上の図は学生自身の授業参加姿勢を問う設問項目2の評定値が3.0以上の学生だけに絞って集計した結果である。
- ③ 「授業評価結果を踏まえた点検・評価」 各教員が今回の授業評価結果をもとに、結果の自己点検・評価や、次学期・クォーターに向けた改善策などを書いた報告書である。

4 授業評価結果の活用

この授業評価は、授業担当者が自身の授業をよりよいものへと改善していくために役立つ情報を学生から収集するために行われている。各授業担当者は、評価項目の数値や自由記述欄に書かれた内容を基礎として、自分の授業について点検・評価を行って改善策を検討する。授業評価の実施、点検および評価、改善策の検討と実施を1つのサイクルとして、授業を向上させることができれば幸いである。

2020年度は第1クォーターが授業評価中止、第2クォーターは全オンライン授業下での初めての授業評価、第3及び第4クォーターは対面授業とオンライン授業の併用下での授業評価となった。対面が可能な授業でも、オンラインで受講した学生がかなりいたようであるが、一方で教員は対面授生とオンライン受講生の両方に目配りをした授業を行う必要があった。その中で一定の評価値が得られたわけだが、引き続きオンライン授業が受講する学生と授業を行う教員にとってどのような変化をもたらすのか、効果的なオンライン授業とはどのようなものか、オンライン授業によって失われてしまう事柄とは何か、検討と改善を行う必要がある。

以上